

<問い合わせ状況 2022 年 5 月>

院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5～10 件程度の問い合わせに対応しています。5 月の疑義照会は 11 件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認（5 件）
- 日数確認（4 件）
- その他（2 件）
 - ・規格違いで調剤して良いか
 - ・併用禁忌薬あり



薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

5 月は 1 件質問がありました。

- 患者より：リフィル処方箋は睡眠薬も対応可能か？



薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。5 月は記録したもので 10 件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No. 447 に記載しています。

- ラゲブリオ[®]で血尿の報告があるか？
- ペリンドプリル[®]の代替薬は？
- ◎タリージェ[®]でこむら返りが生じることがあるか？
- ◎プロスタルモン[®]注は輸液 500mL で希釈して 1～2 時間で投与となっているが、200mL ではダメか？
- ◎エルントニン[®]は投与予定日とずれて投与可能か？
- エルネオパ[®]のルートからドルミカムは投与可能？
- パキロビッド[®]で腎機能低下の報告があるか？
- ◎ラグノス[®]ゼリーは経管投与できる？
- ニューレプチル[®]の代替薬は？
- ◎プラリア[®]中止後、デノタス[®]はいつまで投与すべきか？

